

【施策評価調査】

施策名	3-3-2	急傾斜地崩壊及び河川氾濫防止		101	総合的防災体制の中において、急傾斜地危険箇所や洪水災害予想図(ハザードマップ)を作成し、対策や情報、危険性を住民に正確に周知し被害を最小限に抑えます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	総務企画部地域安全課	担当	危機管理担当		県と協力して町内11箇所の急傾斜地崩壊危険箇所に関する調査を実施し、危険度に応じた対策を行います。また、水防等のハザードマップ*を作成して、災害に対する注意を喚起します。 (*「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	特になし	リーダー	岡本英男		

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：急傾斜地崩壊危険箇所調査回数	平成16年度 調査回数実績 3回	計画	3回	3回	4回	4回	4回
		実績	3回	1回	1回		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	0	0		
	決算	0	0	0		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
急傾斜地崩壊及び河川氾濫防止事業費	当初	点検箇所数	A	平成20年度における地震・洪水ハザードマップを作成し、全戸に新聞折込にて配布し、住民に対して災害に対する危険箇所などの情報提供とともに、関係地区住民に対して土砂災害ハザードマップを配付し注意を喚起しました。			
	決算	14箇所 / 14箇所		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	統合
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	町内の急傾斜地崩壊危険箇所及び河川重要箇所において、町都市整備課・矢板土木事務所等での合同の現地確認調査を実施しました。	今後地震・洪水ハザードマップの理解度を高め、災害時に迅速な対応ができるように地域住民に対して啓発活動を行います。また、関係地区に対しては土砂災害ハザードマップを配布しており、危険箇所の情報提供と災害に対する周知活動を強化していきます。
総合評価	■ 総合評価 ■ この施策がどのような方向に進むべき施策であるのか、検証した上で事前に災害を防止する予防保全を計画的に行っていくのか、災害が起こったときに機能的に動くための施策展開をするのか、防災意識の高揚に繋げるための施策とするのか、後期計画策定に向けて、この施策のあり方、事務事業の内容を関係機関、関係課と十分検討すること。	